

# 12月市議会 一般質問 日本共産党

# 無料健診の継続 市民病院の充実 子育て支援の拡充 を求め奮闘!

## 周産期母子医療が5月からスタート。「小児救急医はぜひ増やしたい」と市民病院総院長が答弁

### 日本共産党の一般質問

**佐藤よう子** ☎七九七五九四八  
子育てしやすい町田に  
無料妊婦健診の回数増を  
求めます。



議は、現在2回  
までの無料妊婦  
健診の拡大を求  
めました。妊娠  
中は15回ほどの定期健診が欠かせま  
せんが、1回5000円ほどかかり  
子育て世代にとっては大きな負担と  
なっています。安心して出産するた  
めには、国も5回以上の無料健診を

**細野ゆう子** ☎七九七五九四八  
「無料基本健診の継続を求める」  
部長 「従来の内容維持できるよう検討中」



細野ゆう子市  
議は、4月から基  
本健診が変わって  
おこなわれる40歳  
以上の特定健診に  
ついて、腎機能検査を含む健診内容や、  
18歳以上の無料健診を維持するよう求  
めました。部長は、「従来の内容を維  
持できるように検討中」との前向きな答  
弁でした。また、全国学力テストを中  
止し、少人数学級実施と、F式暖房



旧式の小中学校のポット式灯油ストーブ

**佐々木とも子** ☎七九三二一三七  
オリンピック招致イベントに  
児童をまき込まないで  
部長 「教育的意義がある」



佐々木とも子市  
議は、石原都知事  
が進めるオリンピ  
ック招致イベント  
へ、小学校を会場  
に全児童を動員したことは、公教育の  
中立性に反すると質しました。学校教  
育部長は、「国際理解など教育的意義  
が高い」と、あくまでも学校教育の一  
環であることを強調しました。  
また、水道事業が東京都に移行され



小学校でのオリンピック招致イベント

自治体に求めています。担当部長から  
は、「拡大の方向で考えます」と答弁が  
ありました。また多摩境駅の交番設置  
については、「継続中」との答弁でし  
た。



どの子もすこやかに

た後の、災害時対応や41万市民の飲み  
水確保に、どこか部署が責任を持つつ  
かの問いには、「防災担当と遺漏のな  
いよう調整する」と水道部長が答弁し  
ました。



**たかしまあき** ☎七三二四二二六  
後期高齢者医療制度の中止を!  
部長 「資格証明書は一律には対応しない」

たかしまあき市議  
は、4月から始ま  
る後期高齢者医療  
制度の問題点を指  
摘し、葬祭事業5  
万円の支給は「実施の方向で検討する」  
と回答を引き出しました。保険証取り  
上げの資格証明書発行についても、部  
長が「一律には対応しない」、「保険料  
の滞納があっても相談に来てくれれば  
丁寧に対応する」と答弁しました。ま



「鵜川」と呼ばれた鶴見川

**つぐむ健一** ☎七九三二五五八  
市民の命を守る市民病院へ  
さらなる充実を  
総院長 「小児救急医はぜひ増やしたい」



殿村健一市議は、  
市民の命を守る市  
民病院へ、医師の  
過重労働改善や確  
保、研修医の待遇  
改善、救急体制の拡充、地方公営企業  
法の全部適用はやめよ、と質問。総院  
長は、心臓外科、脳神経外科、小児救  
急医はぜひ増やしたいと答えました。  
都計道3・3・36号線を利用する本



2・3期工事完成間近の市民病院

町田小学校児童の交通安全対策として  
歩車分離信号の設置をとの質問に、建  
設部長は、「現地を調査した結果で警  
察と協議する」と答弁。市長の政治資  
金パーティー事件について、事実を明ら  
かにするよう求めました。

### 共産党出 減免措置の拡充もとめる 「市税条例改正案」否決に

2007年度の住民税は、定率減  
税や公的年金控除、高齢者控除の廃  
止や縮小、税源移譲などにより庶民  
への大増税が行われました。市民か  
らは、住民税が今までの2倍、3倍  
になったというような悲鳴の声があ  
りました。市民から苦情や問い合わせが1ヶ月間で4000件を超え  
るに及びました。

しかし、  
9月議会で  
は継続審査  
となり、12  
月議会では  
日本共産党  
以外の党派  
の議員の反  
対で否決と  
なりました。  
市民の痛み  
を軽減する  
ために、引  
き続きがんばります。

「生活保護基  
準の1.1倍に  
あたる人」の  
モデルケース

モデルケース	給与収入額	給与所得	各種控除	所得金額	市・都民 税額
扶養親族のない 単身者 45歳	1,786,092	1,070,400	508,600	561,000	56,100
母子所帯 母30、9、4歳	2,585,484	1,628,800	1,508,500	120,000	12,000
高齢者所帯 夫71、妻、64	1,709,532	1,024,800	830,900	193,000	19,300

### 新庁舎建設費149億円の税金投入 優先すべきは「福祉や教育」の 充実ではないでしょうか

新庁舎の基本設計が示されました。1月から実施設計がは  
じまり、来年の3月までには工事発注の準備にかかる計画で  
す。まさに聖域扱いで新庁舎建設は進められています。「庁  
舎の位置を決める条例」の時には、日本共産党を含めて10人  
の議員が庁舎移転に反対しましたが、今では日本共産党以外  
全ての議員が新庁舎建設に賛成しています。

新庁舎には、ガラス張りのアトリウム（吹き抜けホール）  
がほどこされるなど、建設費だけで149億円の税金投入です。  
市内の多くの小・中学校では、今だに勉強する教室にクーラ  
ーもない状況です。また、周辺の交通渋滞の問題も解決され  
ていません。

いま優先すべきは  
市民の税金を新庁舎  
建設に使うのではなく、「福祉や教育」の  
充実にまわすべきで  
はないでしょうか。



新庁舎の模型写真